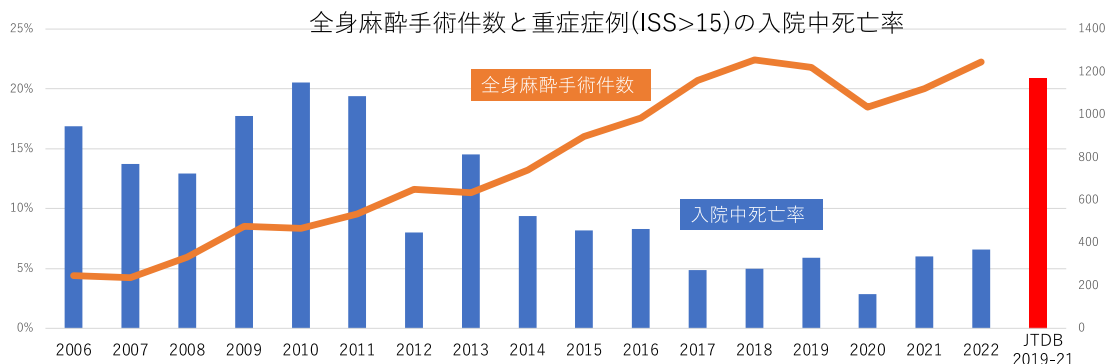


頰椎頸髄損傷手術件数ベスト5

施設	手術件数
埼玉医科大学 総合医療センター	116
東海大学医学部付属病院	35
獨協医科大学病院	22
地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院	22
独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	21

骨盤骨折内固定手術件数ベスト5

施設	手術件数
埼玉医科大学 総合医療センター	31
大阪市立総合医療センター	28
医療法人 徳洲会 湘南鎌倉総合病院	28
藤田医科大学病院	25
社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院	22



救命救急センターに運ばれる重症外傷患者の中でも頰椎頸髄損傷と骨盤骨折は最重症とされています。上の段の表は、これらの最重症患者に対する手術である頰椎頸髄損傷内固定手術と骨盤骨折内固定手術の件数が全国 DPC 病院（大規模病院）中 5 位までの施設を示したものです（2021 年度厚労省 DPC 公開データより）。埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターは、頰椎頸髄損傷手術では圧倒的 1 位の他、骨盤骨折内固定手術でも 1 位です。またこの表に掲げられた他の施設はどこも、どちらか 1 種類のみ 5 位以内で、本邦では当施設のみがオールラウンドに全ての重症外傷に対応していることがわかります。下の段のグラフは、棒グラフが 2006 年から 2022 年までの Injury Severity Score (ISS) は外傷患者の重症度を表す指標で 16 以上が重症と定義されています。

下の段のグラフは 15 年間の埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターに収容した ISS 16 以上が重症外傷患者の入院中死亡率（入院中に死亡した比率）と高度救命救急センターにて行なった年間全身麻酔手術件数の推移を、日本外傷データベース(JTDB)に登録された日本全国の救命救急センターの 2019~2021 年の平均入院中死亡率と比較したものです。当施設の院内死亡率は全国平均の 1/3 程度と、治療成績の面でも極めて高いレベルにあることがわかります。また、全身麻酔手術件数が増えるほど、治療成績が向上することも尿実に現れています。このように埼玉医科大学総合医療センター・高度救命救急センターは、手術件数・治療成績のいずれをとっても本邦随一の重症外傷センターと言えます。